

須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
に基づく取組状況（2024年度）

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組状況の公表

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に係る2024年度の温室効果ガス総排出量の実績状況について、次のとおり公表します。

須賀川地方広域消防組合の事務事業における温室効果ガス排出量

須賀川地方広域消防組合の業務により排出される温室効果ガス（二酸化炭素（CO₂））を2030年度末までに2020年度比で、15%以上削減することを目標としています。

「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、年度の取組み目標を設定し、省エネルギーの推進に取り組んだことにより、2024年度において前年度より29t-CO₂削減し、年間目標値（約1.5%削減）を達成しています。

温室効果ガス総排出量

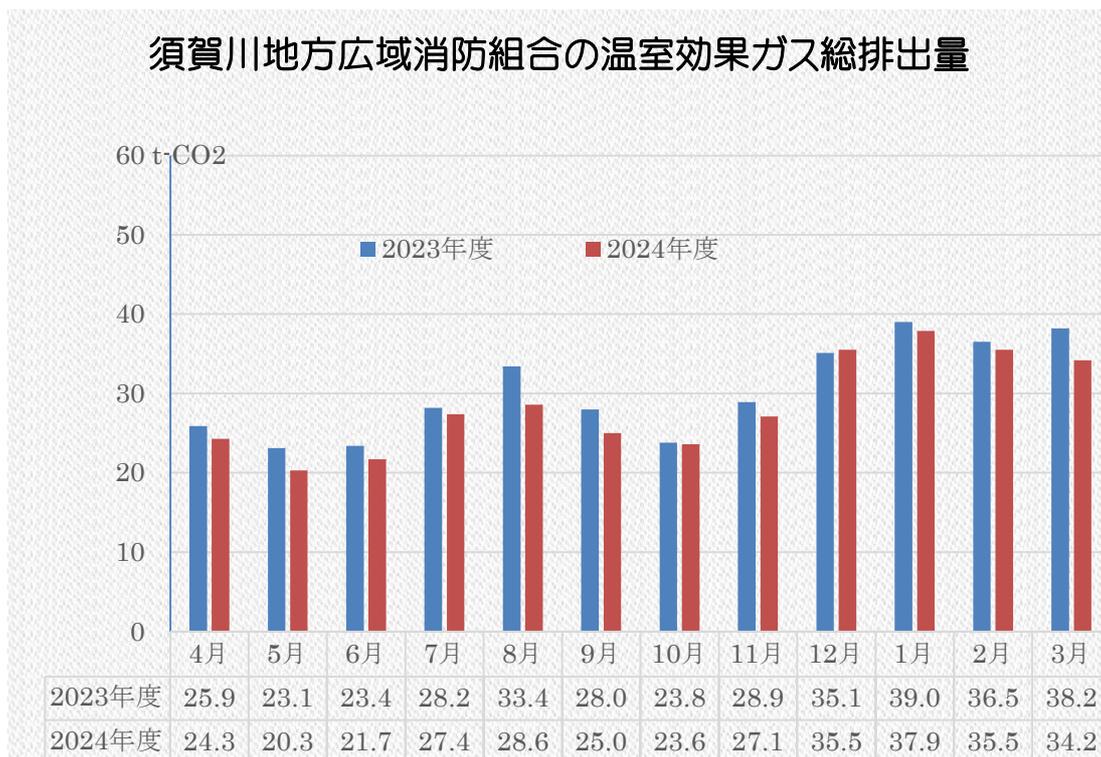
（2024年度）

| 年度 | 温室効果ガス総排出量 | 前年比 | 基準年度比 |
|------------------|----------------------|---------|----------|
| 2020年度 （基準年度） | 400t-CO ₂ | ---- | ---- |
| 2021年度 | 390t-CO ₂ | 2.50%削減 | 2.50%削減 |
| 2022年度 | 384t-CO ₂ | 1.54%削減 | 4.00%削減 |
| 2023年度 | 370t-CO ₂ | 3.65%削減 | 7.50%削減 |
| 2024年度 | 341t-CO ₂ | 7.84%削減 | 14.75%削減 |

須賀川地方広域消防組合の温室効果ガス排出量月別推移

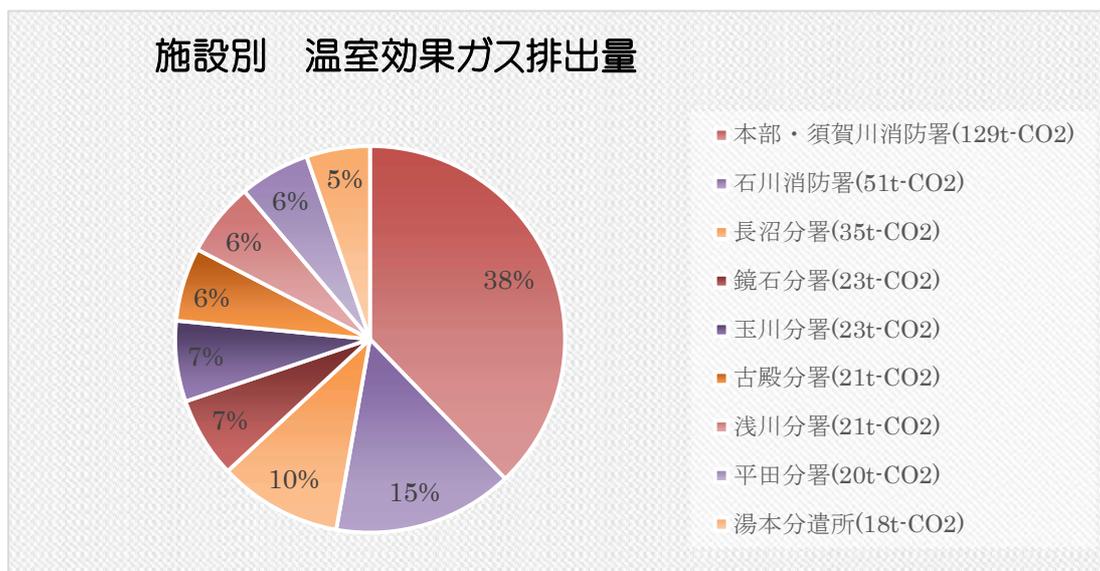
2023年度と比較し、12月以外は通年にわたり温室効果ガスの排出量が減少しました。

温室効果ガスの総排出量が減少した要因は、電気排出計数等の減少とともに省エネルギーの推進により、空調設備の適正な温度管理とメンテナンスの実施、不必要な照明の消灯を徹底するなど、施設設備の運用改善によるものです。



施設別温室効果ガス総排出量

施設別の温室効果ガス総排出量は、「消防本部・須賀川消防署」が最も多く全体の約 38% (129t-CO₂) を占め、次いで石川消防署 約 15% (51t-CO₂)、長沼分署 約 10% (35t-CO₂) などとなっています。



エネルギー種別における排出状況

エネルギー種別では、例年と同様に電気、ガソリン、軽油、灯油、LPGの順に総排出量が多くなっています。

